

ます。それは緑が多く、交通や買物の便も良く、安心安全な街として評価されています。

当然今年は小学1年生が例年より増加して今は友達が出来て元気に通っています。

新1年生を5・6年生が優しく教えていたり見守っている思いやりのある行動は微笑ましく感じます。

しかし、昨年、不審者出没が12件発生しました。遭

盛夏の候、皆様ご健勝でお過ごしの事とお慶び申し上げます。町連行事に特段のご理解とご支援を頂き感謝申し上げます。

思いやる心一層大切に

平岡地区連合町内会
会長 中川 昇

遇した子供達は大変な衝撃を受けていますが、場所は近辺で繰り返して発生しています。子供は宝、思いやりを持つて見守る必要があります。今、平岡地区高齢化比率22%近くにありますが、平岡を定住の場所としてこの住み慣れた場所でいつまでも健康で暮らしていきたいと思っています。子供同士

高齢者虐待等が懸念されますが、日々生活する近隣の人が子供達、高齢者の何時もと違う行動に気付き、思いやる繋がりの街として一層安心して暮らせる街を目指していかないとなりません。

A black and white portrait of a woman with dark, shoulder-length hair. She is wearing round-rimmed glasses and a light-colored, possibly white, collared shirt. The photo is set within a circular frame.

誰か安心して暮らす所がいい。」

清田図第1地域包括支援センター長

と残念ながら認知度が高い
とはいえない。

平岡地区における高齢化率は23・5% (H27/4/現在) で、七尾市全体の

1(現在)で木幡市全体と比べると低い数字ではあります

さすが「超高齢社会」に
相当し決して若い地域とは
いえません。今後も一層の

高齢化と人口減少が進むと予測され、支援を必要とす

る高齢者、1人暮らしや高齢者夫婦の世帯、認知症を

有する人が増加、介護の担
い手不足等による様々な課

題が想定されます。その反面、高齢者には豊富な経験

や知識を有し、まだまだ社会を支える役割も期待され

このような背景のなかで
住み慣れた地域で安心して
ます。

定されました。が未来に引き継ぐ平岡にある財産です。

術を親切に指導してくれ、夢が膨らんでいきます。
さて、これから夏、秋に予定されている町内会、町連行事が皆様に楽しんで頂けます様順次ご案内致しますので、参加下さいます様お願い申し上げます。



梅の実交流茶房で寸劇に参加する職員

その人らしい生活を継続していくためには、高齢者の心身の状態や生活環境の変化に応じて適切な支援やサービスが、日常生活の場で適切に途切れなく提供される体制づくりが進められています。そして、制度等で対応できない部分については、地域の人が地域の人を支える福祉活動が重要とされます。平岡地区では、平成25年度より清田区における地域福祉活動の先行地区としての取組みが進められています。包括も関係機関との連携のもと福祉のまち推進センターによる『梅の実交流茶房』、『咲かせよう！わ』、各単位町内会によるサロン活動や福祉勉強会等の様々

な活動に参加させて頂いております。地域の皆さんによる互いに支え合うやさしいまちづくりが一步一歩前進しているのを肌で感じてゐるところです。活動を通して私達自身も地域の皆様に気軽に声をかけて頂けるようなり、ご相談や出前講座の依頼も増え大変嬉しく思っています。

「地域ケア会議」が介護保険法で法制化されました。高齢者が暮らしやすい地域づくりのために、住民の方々と共に、高齢者が抱える問題を共有し、地域と専門機関や行政との連携のもと、課題解決に向けて話し合う場と位置付けられています。会議開催時には、皆様の理解とご協力を頂きながら進めていきたいと考えております。

包括の業務について
包括には、社会福祉士、
保健師、主任ケアマネジャー、
等の専門職が配置されてい
ます。専門職が連携して、
それぞれの専門性を活かし、
ながら「チーム」として総
合的に皆様を支えられるよ
う努めています。

【高齢者のあらわる権利を守ります】 高齢者虐待や消費者被害の早期発見や対応、防止のための啓発活動、高齢者の財産を守るための成年後見制度の紹介等も行っています。

【暮らしやすい地域づくりの取組み】 地域で暮らす高齢者を支えるためにケアマネジャーの支援や様々な介護・福祉・医療等の地域の関係機関や団体等との連携・協働体制づくりを進めて います。また、出前講座等を通して困ったときの相談先として1人でも多くの方に包括を知つて頂きながら、

(1) 春の一斎清掃と花壇づくり

人の人々が住んでいる。当自治会は地域の発展と会員相互の親睦を図ることを基本理念として種々の活動を展開しているが、その中で特徴的な活動について述べることにする。

(1) 春の一斉清掃と花壇づくり

当自治会の活動は春の訪れとともに始まる。札幌市

【高齢者のあらゆる権利を守ります】高齢者虐待や消費者被害の早期発見や対応・防止のための啓発活動、高齢者の財産を守るための成年後見制度の紹介等も行っています。

と一緒に地域の高齢者を支えていきたいと思っていま
す。「どこに相談したらいいの？」と思ったらまずは
ご相談ください。

【介護や健康維持のためのサービス調整をします】介護保険の申請や要支援1・2と認定された方のサービスを使うための調整やケアプラン作成、介護予防事業

への参加調整や健康維持に
関する支援を行つていま
す。自分が高齢者になつたら
どんな暮らしを望みますか?
そんな想像力がふくらめば、
おのずと高齢者に限らず誰
にとつても住みやすいまち
を創造することができるか
もしれません。そんなまち
づくりのお手伝いをこれから
もさせて頂きたいと願つ
ています。

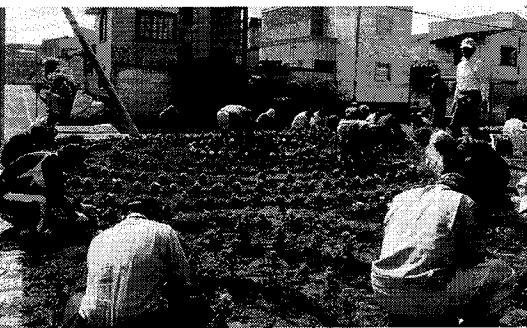
平岡第一自治会の活動状況について

平岡第一自治会

の「春の清掃運動」に合わせて5月上旬に実施する清掃活動は、自宅周辺の清掃は勿論であるが、当自治会の中を走る一本のサイクリングロードの清掃を毎年60人前後の地域住民の協働事業により実施している。このロードには白樺並木の緑陰や花壇があり、北公園にも通じていることから、地域住民の貴重な散策道にもなっている。

また、5月下旬には「憩の森緑地」の花壇づくりを皆さんの御協力をいただき

ながら実施しており、毎年約500株の花苗を植えている。この花壇は住宅街にカラフルな色どりを添え、潤いと安らぎをもたらしてくれており、「平成26年度清田区ガーデニングフォトコンテスト」地域緑化部門で最優秀賞の栄誉に輝いた。



500株の花苗の根付け

(2) 「子供みこし祭」について
青葉若葉の6月中旬、北海道神宮祭に合わせて「子供みこし祭」を毎年開催している。きらびやかな神輿は子供16人の肩に担がれて、他の多くの子供達と付き添っている。父兄を従えて、お囃子や太鼓の賑やかな音色を奏でながら町内を練り歩く。沿道には町内の皆さんがあ



みこしをかつぎ練り歩く子どもたち

ち並んで手を振ったり、エールの声を掛けたり、大変活動に満ちた賑やかな風景が見られる。将来を担う子供たちの健やかな成長を願つての思いが込められているからであろう。

年に入つたが、今後とも見られる。将来を担う子供たちの健やかな成長を願つての思いが込められているからであろう。

度を自安に家庭訪問等を実施している。この活動も4年目に入つたが、今後とも高齢の独居世帯や老夫婦世帯が増加傾向にあることから、地域住民が安心して暮らすためには、必要不可欠な活動と考えている。

この他にも世帯の救急救命措置として役立てるための「救急医療情報ポスト」の配布や喜寿・米寿を迎えた方々への祝い品の贈呈、社会的話題性のあるものをテーマとした「福祉勉強会」の開催等を実施している。

以上、平岡第一自治会の活動状況の一端についてご紹介した。

今年で9年目を迎えた。平成27年5月の段階で、208戸が居住しており、その全ての世帯が町内会に加入して形成されています。

アリアパーク平岡町内会は、平成19年より設立され、大会と一日を通して様々な企画が目白押しの「アリアの夏祭り」です。毎年大勢の人で盛り上がっています。祭りの最中は、住民間の交流も盛んに行なわれ、特に子供たちが楽しめる企画が多いので、子供たちの楽しんでいる姿や笑顔が多いのが印象的です。今後も皆様が楽しめるお祭りにしていただきたいと思っておりますので、ぜひ近隣の皆様も足を運んでみて下さい。



サイクリングロードの清掃

度を自安に家庭訪問等を実施している。この活動も4年目に入つたが、今後とも高齢の独居世帯や老夫婦世帯が増加傾向にあることから、地域住民が安心して暮らすためには、必要不可欠な活動と考えている。

アリアパーク平岡町内会は、平成19年より設立され、大会と一日を通して様々な企画が目白押しの「アリアの夏祭り」です。毎年大勢の人で盛り上がっています。祭りの最中は、住民間の交流も盛んに行なわれ、特に子供たちが楽しめる企画が多いので、子供たちの楽しんでいる姿や笑顔が多いのが印象的です。今後も皆様が楽しめるお祭りにしていただきたいと思っておりますので、ぜひ近隣の皆様も足を運んでみて下さい。



賑やかな夏祭り

度を自安に家庭訪問等を実施している。この活動も4年目に入つたが、今後とも高齢の独居世帯や老夫婦世帯が増加傾向にあることから、地域住民が安心して暮らすためには、必要不可欠な活動と考えている。

アリアパーク平岡町内会は、平成19年より設立され、大会と一日を通して様々な企画が目白押しの「アリアの夏祭り」です。毎年大勢の人で盛り上がっています。祭りの最中は、住民間の交流も盛んに行なわれ、特に子供たちが楽しめる企画が多いので、子供たちの楽しんでいる姿や笑顔が多いのが印象的です。今後も皆様が楽しめるお祭りにしていただきたいと思っておりますので、ぜひ近隣の皆様も足を運んでみて下さい。

②環境美化運動

町内会の活動

アリアパーク平岡町内会

会長 富樫直人

も得ながら開催しています。

野菜販売・縁日・屋台・

ピング大会・盆踊り・花火



4mの巨大イルミネーション

福祉活動に取り組み始めて3年目になります。決して華々しく・積極的ではありませんが気長に続けたいと思います。1年目は福祉推進部長・会長の勉強会及びアンケート調査の実施。

高齢者の結びつき
(福祉推進活動)

他の町内会は幅広い協力者と参加者で実施されていますので、今後とも努力してまいりたいと思います。参加者が年々少なくなり実施についても検討を重ねています。

○10月 町内会防災訓練を清田消防署及びユニ商会の協力・指導を受け実施しています。他の町内会は幅広い協力者と参加者で実施されていますので、今後とも努力してまいりたいと思います。参加者が年々少なくなり実施についても検討を重ねています。

2年目はアンケート調査により6家族のお元気訪問年3回と「こんな時にはどこに相談する」のパンフレットを作成・説明・配布いたしました。

3年目の今年は、福祉推進活動支援協力者15名と共に勉強会を計画中。講師は清田区包括支援センターを予定し調整しています。お元気訪問は昨年同様年3回以上実施します。

以上町内会の状況です。



着任のご挨拶

平岡まちづくりセンター
所長 河井 力

本年4月に平岡まちづくりセンターに着任いたしました河井です。11代目となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。着任して早くも3ヶ月が過ぎました。これまでさまざまな職場を経験してきましたが、数年前まで厚別区役所で主に防災・防犯・交通安全の事務に従事しており、各まちセンターとの協働で「安全で安心な街づくり」に参画させていただきました。

お昼休み時間を利用して平岡地区のあちらこちらを散策してみましたが、印象といたしましては閑静な住宅街で地域のまちづくり活動も活発な明るく住み良い地域だと実感しております。人と人のつながりも良く優しく大らかな気質の方が多いと思います。

このところ、少子高齢化、人口減少という問題が札幌市でも話題になることがしばしばですが、札幌も2015年をピークにその後人口が減少すると聞き及んでおりま

す。個人的には札幌市の大

きな課題としてこれらの問題のほかに高齢者の見守り活動の活発化、介護施設等の増設、防災対策の充実がこれからより求められる時代に入っているのではないかと感じております。

小学校5年生の時、冬季に札幌オリンピックを境に札幌市も目覚ましく変貌を遂げましたが、バブル崩壊、リーマンショック等により他都市と同様成長経済が著しく停滞いたしました。日本も膨大な借金で今後の日本も行く先がどうなるか日々心配になることがあります。そのような中で、今後の「街づくり」はどうあるべきなのか再度考える時期が到来しております。若い世代が積極的に「街づくり」に参画し、自らの手で新たな発想で豊かに暮らしていくことができる「街づくり」に参画していきます。このことが今札幌市民に求められていると思います。

ところで、今から10年ほど前に「公的扶助の研修」のためロンドン（ウェストミンスター区）とミュンヘン市を訪れたことがあります。現場で福祉、医療、介護に従事する職員の様々なお話を聞く機会があり大変参考になつた点があります。

ヨーロッパではキリスト教の精神に基づくNPO団体が多数存在し、公的扶助ではなく、高齢者、生

新しくリニューアルした「平岡樹芸センター」の有効利用を愛称「ミドリーム」に決定

平岡樹芸センターは、昭和59年に開園して以来、市民をはじめ道内外の多くの方々に四季折々の庭木、花木類を提供し、来賓者を楽しませてくれています。今年2月29日工期を完了し、この4月29日に新しくリニューアルオープンしました。7月4日には広く公募していた愛称も「ミドリー」に決定し、さらなる利用が期待されているところです。

美しく清らかな池や四阿を有する日本情緒豊かな庭園、西洋風のトピリア（刈り込み物）広場をはじめ、園内には約3,000本のオンコが植栽され、これらは秋頃8種類約700本から800本のもみじが燃えるように色づき、人々の目を奪います。

センターには、緑の相談コーナー・講義室・展示室・図書コーナーなどがあり、樹木を中心として庭づくりに関する様々な情報を得ることができます。

最近は全道各地から、観光目的で来園する方が増加し、今年もすでに開園以来6月末までに20,000人

平岡樹芸センターは、昭和59年に開園して以来、市民をはじめ道内外の多くの方々に四季折々の庭木、花木類を提供し、来賓者を楽しませてくれています。

を超える方が来園していくます。紅葉が美しくなる時期には更なる来園者の増加が予想されています。

平岡在住の皆様も、おひざ元にあるこのように素晴らしい樹芸センター。四季折々是非伺い、自然の美しさを堪能してはいかがでしょうか。



4月29日リニューアルオープン

・開園期間	4月29日～
11月3日（休園は毎週月曜日）	
・開園時間	8時45分～17時15分
〔緑の相談日〕	8時30分～12時30分
水曜日・土曜日	13時～16時
10時～12時	13時～16時

11月3日
曜日
・開園時間

園内には約3,000本のオンコが植栽され、これから800本のもみじが燃えるように色づき、人々の目を奪い去る。

センターには、緑の相談コーナー・講義室・展示室・図書コーナーなどがあり、樹木を中心として庭づくりに関する様々な情報を得ることができます。

最近は全道各地から、観光目的で来園する方が増加し、今年もすでに開園以来6月末までに20,000人

みんなの広場「コーナー

平岡四町ゴルフ同好会

会長 三浦 宣昭
ゴルフ同好会は、夏祭りを共催する四つの町内会の有志が「祭りの円滑な運営のために、役員間の意志疎通を図ろう」との掛けで発足しました。



スタート前の会長あいさつ

式は、なお一層の懇親を深める意味で、時間と場所を変えて居酒屋で行うことも恒例になっています。次回のコンペ開催予定は、8月3日。年内はさらに9月に開催を予定しています。

4町内会は、わかば会館運営など多方面で協力関係にあり、こうした活動を通して一層の親睦を図つていただきたいと、考えてています。



恒例の居酒屋での表彰式

期折々の樹木や草花がその時季節を個性豊かに教えてくれます。それが、芽ばえたり、花が咲いたり、はたまた、色づき始めた紅葉だつたりしてセンタ－は豊かな内容をもつていています。その出会いが面白いです。足しげく通う人も多いです。人は長いこと暮らしていいると動植物との印象深い繋がりが生じたりする場合があります。

例えば、「平家物語」と「平岡樹芸センター」が繋がっているとしたらどうでしょうか? それがあるんです。私は、鎌倉時代の琵琶法師の琵琶の音に合わせて語る「耳なし芳一」と舟橋聖一氏の書いた「新平家物語」など読みながら、「ナツツバキ」の花とは? どんな花だろ? と考えていた頃、あつたんですね:あのセンターの南の方の広場の北側の広場に出でるシャラソウジュ萸には印象的です。この木、物語が木の縁にありました。その説明が並んでいました。本物のシャラの木はインドのヒマラヤの麓にあります。私はあの木すべすべした樹皮の感じなどを花の白さは、仏教の經典の基本に「因果応報」の通りつるものがあるな:と思いつつセンタ－に行つたときは、並木のご機嫌を伺うことが癖となりました。

またがり